

●19日、自治体首長選挙決選投票の実施

A. 主な動き

1. 内政

▼自治体首長選挙決選投票の結果

〔中央選挙管理委員会による投票率(20日現在)〕

・全国平均:53.74%、キシナウ市:59.26%

〔中央選挙管理委員会による暫定結果発表(20日現在)〕

・自治体首長選挙決選投票における政党別当選者数(開票率99.29%):自由民主党:163名(283名)、民主党:133名(218名)、共産党:87名(202名)、自由党:70名(97名)、無所属:33名(68名)、その他:19名(23名)、計505名(891名)

括弧内は一次投票における当選者数を加えた総計、7か所の自治体首長選挙決選投票における当選者は未確定

・キシナウ市長選挙決選投票における各候補者の得票率(開票率100%):キルトアケ現市長(自由党):50.60%、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党):49.40%

▼地方議会選挙結果に関する動き

・15日及び16日、中央選挙管理委員会は、2007年の地方選挙と比較し、5日の選挙における追加有権者リストによる投票数及び無効票数は減少した旨発表。

・15日、キシナウ中央地区裁判所は、証拠不十分を理由に、9日に自由党によって提出されていたキシナウ市議会選挙の票の数え直し要求を却下した旨発表。同日、キルトアケ現キシナウ市長は、同決定を不服としてキシナウ控訴裁判所に控訴。

・17日、キシナウ控訴裁判所は、キシナウ市議会選挙の票の数え直しを中央選挙管理委員会に命令。チャーカン中央選挙管理委員会委員長は、票の数え直しは22日以降に実施する旨発言。一方、ヴォローニン共産党党首他は、同決定は政治的なものである旨非難。

▼自治体首長選挙決選投票に向けた動き

・13日、中央選挙管理委員会は、決選投票には1024名(内訳:自由民主党311名、民主党243名、共産党240名、自由党124名、無所属61名等)の候補者が参加し、512名が選出される旨発表。14日、中央選挙管理委員会は、民主主義の原則、政治的多様性、表現の自由に基づいた公正な選挙運動を行うよう各候補者に呼び掛ける旨発表。

・13日、キルトアケ現キシナウ市長は、公文書偽造及び名誉毀損の疑いでドドン前第一副首相兼経済・貿易相を検事総局に告訴する旨発言。

・16日、ドドン前第一副首相兼経済・貿易相は、汚職容疑及び名誉毀損の疑いでキルトアケ現市長を検事総局に再度告訴した旨発言。

2. 経済

・14日、中央銀行は、5月の消費者物価指数は前年比7%、前月比0.5%の上昇と発表。

3. 外政

▼16日、フィラト首相のスロバキア訪問

・フィラト首相は、オルバーン・ハンガリー首相と会談、二国間関係、モルドバの欧州統合、東方パートナーシップ・サミット等につき協議。

・フィラト首相は、V4首脳会談に出席、モルドバの経済・制度改革、モルドバ・EU対話、東方パートナーシップ・サミット等につき協議。

4. 沿ドニエストル

・13日、フィラト首相は、10日の在モルドバ露大使館のレセプションにおけるクジミン駐モルドバ露大使による発言はモルドバ国民に対する侮辱である旨非難。レアンカ外務欧州・統合相は、同行為は許容できないものであるとし、遺憾の意を表明。

・13日、ヤストレブチャク「外相」は、同行為は当然のものであるとし、モルドバ政府の対応に対する疑念を表明。沿ドニエストル「外務省」は、同事件に関連し、21日に開催予定の「5+2」協議における問題解決に向けたモルドバ側の準備が整っていない旨指摘する声明を発表。

・15日、露外務省は、モルドバの統一における沿ドニエストルへの特別な地位付与による解決を支持し、21日の「5+2」非公式協議における公式交渉再開の決定を望む旨の声明を発表。

5. 防衛

▼NATO欧州・大西洋パートナーシップ理事会(EAPC)

・15日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、ブレンゲルマンNATO事務総長補と会談、IPAP(NATO個別パートナーシップ行動計画)等について議論。

・16日、モルドバにおいて、NATO欧州・大西洋パートナーシップ理事会が開催。NATO加盟国等60の代表団が参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。(了)